

第18回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

第18回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議  
議事録

日時：平成26年 3月 27日（木） 15：00 ～ 17：00

場所：大宮ソニックシティ ソニックシティビル8F 805会議室

出席者	座長	葉山 嘉一	日本大学生物資源科学部 准教授
	委員	池谷 奉文	公益財団法人日本生態系協会 会長
		柳澤 紀夫	公益財団法人日本鳥類保護連盟 理事
		勅使河原 彰	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議 前代表委員
事業者		鈴木 伸	鳩山野鳥の会 代表
		本間 淳史	東日本高速道路株式会社 さいたま工事事務所長
		真田 晃宏	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所長
事務局			大宮国道事務所



項目	主な意見と回答
<p>(1) 坂戸高架橋下のビオトープ整備の進め方(案)</p>	<p>・今日は、議事次第にありますように、4件の内容でございます。まず、「坂戸高架橋下のビオトープ整備の進め方(案)」についての御説明を事務局からよろしく申し上げます。[REDACTED]</p> <p>・「会議資料①坂戸高架下のビオトープの整備の進め方(案)」の説明(事務局 宮下)</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>それでは、今の御説明について、御意見あるいは御質問をお聞きしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。委員の皆様方のところに説明に伺った際には、植生の生育状況調査の方法が違って、御意見を伺った上で少し修正したという内容になっていますが、いかがでしょうか。[REDACTED]</p> <p>・事前の説明のときにも言ったのですけれども、それが反映されていないみたいです。</p> <p>調査をした結果、少なくとも7カ月間は水域環境がなくなるわけです。少なくともビオトープにしようということで始めたわけですので、水域環境も作っておかない。水生昆虫なんかの生育にも非常に影響を来す。ここでは1.3mぐらい深いところまで掘れば、常時水がある程度たまる場所ができる。ほとんど掘っていないところが、越辺川側のところの6mはそれほど掘っていないので、ここから少しずつ段階的に掘っていけば、こういう水域環境をきちんと溜めているのではないかと。そうすると全体的にミゾコウジュやオグルマを植えるところも湿潤化した環境になるのではないかと。せっかくこういう環境調査をしたわけですので、この環境調査に基づいて、今ある環境で問題があるところを手直しした上で希少生物を移植するということが筋だと思うのです。これだと環境調査は調査で、それが十分生かされて、では次に移植しようと言う事になっていないのではないかとということで私は意見を述べました。やはりそこはちゃんと手順を踏まえるべきだと思います。[REDACTED]</p> <p>・私の理解では、将来的にあそこをビオトープ化するためにはどうですか、どのような条件が貴重種にとって必要かを検証するための第一段階の検証実験をする。この結果を将来どのように生かしてい</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 坂戸高架橋下のビオトープ整備の進め方(案)</p>	<p>くかというのはまだ今の段階では十分議論できないので、将来やっていくわけです。そういう理解でいろいろな手法をやると私はお話を聞いているのです。■■■■■</p> <p>・でも、7カ月間も完全にね。わざわざあそこを掘ったのは、一部分は水域環境を作ろうという意図ですよ。■■■■■</p> <p>・それは、今申し上げた、将来どうするか、どういう空間を作っていくかということだと思ふのです。ですから、一時的に水がなくなるという基本的な条件を持っているというところがまず確認できたということだと思ふのです。それに関して、確実に終年水域が保てるような場を作る必要があるとかいうような話が次に来ると思ふのです。ですから、そのように御理解いただければいいかなと私は思っています。■■■■■</p> <p>・私は、実験をすることでも、そういう環境を作ろうということをやったわけですから、やはりそういう環境にならなければならぬ。ある程度そういう環境を作った上で移植する。いくら実験でも、希少種を移植するわけですから。■■■■■</p> <p>・その辺で、この2種類、実験に使うものに関しては、4ページの(2)の③に書いてありますけれども、ミゾコウジュは1年草で、オグルマは多年草ということで、生育特性が違ってくるのですけれども、そのライフサイクルを考えると、秋季以降は水がなくなっても彼らは問題ないというライフサイクルをとっているように見受けられるのです。ですから、水が終年ないところでも適応できる種と適応できない種がどのように存在するかを確認した上でということになると思ひます。ですから、全体をどうするかという話はまだ早いのではないかと私は認識しています。■■■■■</p> <p>・私は、この環境調査の中で生育環境がないのであれば、そういう状況を作ってから希少種を移植すべき。■■■■■</p> <p>・それは、先ほど申しましたように今後の話ですね。 実験は、■■■■■からの御指摘で、この2種類について条件</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 坂戸高架橋下のビオトープ整備の進め方(案)</p>	<p>があまりにもよくないと事前に推察できる場所にはあえて植栽してもしようがないということで、今回配慮して頂いてやめたということですね。[REDACTED]</p> <p>・はい。(事務局 山田)</p> <p>・今回は、土壌の水分条件なんかを加味して、どの程度までが限界なのかという視点で実験をしましょうということですね。[REDACTED]</p> <p>・事前に御説明した時には、4ページの3. 1の区画で①～⑨まで区画しておりまして、この①～⑨全てに移植する計画だったのですが、既に環境調査で光環境が乏しいとわかっている①、④、⑦、②、⑤、⑧、そういう暗いところにも移植するのはさすがにいかがなものかということ、同様に、そもそも乾燥していることがわかっている⑦、⑧、⑨に移植することもいかがかということも踏まえまして、ここに書いてありますように、植物にとって、⑥の箇所であれば、この⑨までの中でも他よりはまだ条件がいいので、少し暗い側の⑤、それから少し乾燥しているところと比較するために⑨と、⑥を中心として、少し広げて移植して調査をしたらどうかなと考えているところでございます。(事務局 山田)</p> <p>・純粋に学術的に考えれば、過激な条件のところにも植栽してみて、限界値がどこかというのを検証するのは普通にやることです。でも、今回は、両方とも重要な植物で、その取り扱いはある意味で慎重にしなければいけないということで、少し差し控えたという考え方ですけれども、いかがでしょうか。[REDACTED]、考え方としてはよろしいですか。[REDACTED]</p> <p>・はい。[REDACTED]</p> <p>・この結果を今後反映させて検討していくということです。 それと、私から伺いたいのですけれども、動物に関して、コシアキトンボ、ギンヤンマの幼虫が発生しています。これは9月に確認されているのですけれども、この後のこの幼虫の動きはどうなりま</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 坂戸高架橋下のビオトープ整備の進め方(案)</p>	<p>したか。これは9月中に羽化してしまうのですか。幼生越冬ですか。[REDACTED]</p> <p>・今年度は2回しか調査してございませんので、その後の9月以降のトンボの状況については…((公財)埼玉県生態系保護協会 中野)</p> <p>・一般的に、この種類のライフサイクルとしては、羽化して逃げていくということになるのか、10月～11月にかけて水がなくなる場所で死滅してしまうのかを確認したいと思って伺ったのですが、この辺がはっきりしないと、植物だけではなく、動物のほうも[REDACTED]が御指摘のように問題が発生することになりますよね。それをフォローしておいていただければ、議論がもう少しきちんとできると思います。[REDACTED]</p> <p>・要するに、ヤゴが冬を越す前に、秋に成虫に羽化して飛び立つのか、それともヤゴの状態越冬する習性なのか、その辺のコシアキトンボとギンヤンマ、アカネの仲間のライフサイクルとの対応関係を把握する必要があるということですね。((公財)埼玉県生態系保護協会 須永)</p> <p>・マツモムシは飛んで逃げられますから、大丈夫だと思いますけれども。では、その辺をよろしくお願い致します。[REDACTED]</p> <p>・わかりました。(事務局 山田)</p> <p>・あと、ちょっと気になったのですけれども、4ページの希少植物生育状況調査の目的のところ、「ミゾコウジュ、オグルマの当該箇所における生育状況を確認するため」ではなくて、「生育の可能性を確認するため」ですよね。[REDACTED]</p> <p>・わかりました。すみません。(事務局 宮下)</p> <p>・ほかにはいかがですか。私がしゃべり過ぎました。これに関してはよろしいですか。</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 坂戸高架橋下のビオトープ整備の進め方(案)</p> <p>(2) 繁殖状況の整理(案)</p>	<p>では、御意見、御質問が尽きたということで、次の項目に移ります。[REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2番目の「繁殖状況の整理(案)」を御説明ください。[REDACTED]</li> <li>・「会議資料②繁殖状況の整理(案)」の説明((株)建設技術研究所 川崎)</li> <li>・ありがとうございます。 いかがでしょうか。かなりデータが蓄積したので、[REDACTED]から御指摘があって、やって頂きましたけれども。[REDACTED]</li> <li>・サシバなんかとてもおもしろいのですが、オオタカの例数ぐらいにサシバの例数もふえてくれば、結果の信憑性がもう少し高くなってくるかなと思っています。[REDACTED]</li> <li>・余りデータを読み過ぎると問題かもしれませんが、興味深い内容かなと思いました。何か御質問はありますか。[REDACTED]</li> <li>・恐らく漏れだと思うのですけれども、2ページの調査地C、これは6ページに地図がありますけれども、営巣中心域も我々が設定していますが、営巣中心域の記載が漏れただけですよね。Cのところに括弧で高利用域がありますよ。ここは営巣中心域が道路にかかっているところは整理していますよね。ただ単に漏れているだけか、整理していないのかというところ。[REDACTED]</li> <li>・失礼しました。こちらについて、調査地Cは、圏央道が営巣中心域内を通過していないということで、ここでは高利用域内としております。((株)建設技術研究所 川崎)</li> <li>・それはおかしいですね。最終的にどうするかは別として、我々が営巣中心域を引いたわけですから、ほかのところは上尾道路だって高利用域をデータで集計しているのに、このCのところだけ営巣中心域をやらないのはおかしいのではないかと思います。[REDACTED]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 繁殖状況の整理 (案)</p>	<p>・営巣中心域の集計は、調査地Cについてもやっております。((株)建設技術研究所 川崎)</p> <p>・やっているならここにちゃんと書いたほうがいいのではないか、それが漏れているのではないですかということです。■■■■■</p> <p>・では、誤解がないように修正させていただきます。((株)建設技術研究所 川崎)</p> <p>・あと、戻るのですけれども、将来的にこのCをどうするか。この委員会でやるのですか。ここは上尾道路ですからね。■■■■■</p> <p>・それについてはまだどうするかは決めていませんので、今後の検討になると思います。(事務局 山田)</p> <p>・やらないにしても、どこかに引き継いでいかなければいけないですね。営巣中心域を特定したわけですから、その責任は我々にあるわけです。■■■■■</p> <p>・はい。ありがとうございます。(事務局 山田)</p> <p>・ほかはいかがですか。特によろしいですか。 それでは、理解できたということで。■■■■■</p>
<p>(3) 平成26年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>・次の(3)「平成26年繁殖期初期の調査結果」の御説明をお願いします。■■■■■</p> <p>・「会議資料③平成26年繁殖期初期の調査結果」の説明 (事務局 宮下)</p> <p>・ありがとうございます。 それでは、御質問、御意見をよろしくお願いします。いかがでしょうか。</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 平成26年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>オオタカとフクロウの競合の事例について幾つか御承知の[ ]は、この状況をどのように考えられますか。[ ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多分、このまま両方に分かれて巣をつくることになろうかと思えます。[ ]</li> <li>・同一地域で接近して両種が繁殖した事例というのは、どのぐらい離れているのですか。[ ]</li> <li>・巣箱を用意して次の年にフクロウに出ていってもらったのなんかは300mぐらいだろうと思えます。[ ]</li> <li>・Fのあの規模の中で両方が繁殖できるのでしょうか？ [ ]</li> <li>・Fで、可能性としては、林の隅っこの方に巣箱を設置したら、あるいは入ったかもしれません。95%以上は樹洞型の方に入りますから、営巣場所を選択する時にほぼ樹洞型を選択するのが普通のフクロウですから、こういうオオタカの巣のようなものが近くにあったとしても、樹洞型がどこかにあれば、そちらへ行くとおもいます。[ ]</li> <li>・ありがとうございます。 ほかの委員の方はいかがでしょうか。 [ ]は、事前にお話を伺って、多分フクロウが原因者でオオタカがいられなくなったと。[ ]</li> <li>・初めてなのでびっくりしました。結局オオタカは、フクロウが入ってきたので出ていかざるを得なかったのかなと。それでLの方に行った。Lとは行ったり来たりしていたかもしれないので、かつて知った、あるいはかつて知っていないかもしれないけれども、営巣適地で、緊急避難的に動いたのではないかと私は勝手に思っています。[ ]</li> <li>・ありがとうございます。 [ ]はいかがですか。[ ]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 平成26年繁殖期初期の調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [REDACTED]、オオタカが営巣するときに、このようにフクロウに追いやられる原因は何ですか。 [REDACTED]</li>   <li>・ 多分、繁殖の体ができてくる時期が、フクロウのほうがさえずりなんかは早いですから、全体に繁殖のスケジュールがフクロウのほうが早いのだろーと思います。 [REDACTED]</li>   <li>・ これもそうですよね。 [REDACTED]</li>   <li>・ それで先に押さえたら、防衛の行動が大きくなって強くなるので、誰が来ても追い払われるという事だと思います。以前、オオタカが作った巣にカメラをつけてもらったら、次の年はノスリ、トビ、オオタカ、フクロウと入ってきて、フクロウが取ったという例がありますので、あの巣は誰が来るかわからない部分もあります。 [REDACTED]</li>   <li>・ スケジュール的には、フクロウの方がオオタカ等に比べて1カ月ぐらい早いですか。 [REDACTED]</li>   <li>・ 多分、体ができてくるのはそれぐらい早いと思います。 [REDACTED]</li>   <li>・ 経験的にはフクロウの方が少し早いなどは思っていましたけれども、1カ月ぐらい前になると、かなり違ってきますね。 [REDACTED]</li>   <li>・ そこで巣をつくろうと決心してしまえば一番強くなりますから。 [REDACTED]</li>   <li>・ [REDACTED]はいかがですか。 [REDACTED]</li>   <li>・ 実に悩ましいですね。埼玉県のパ野部から言うと、希少性で言えばフクロウのほうが貴重で、両方貴重なので、どうするのと私どもも困っています。 [REDACTED]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 平成26年繁殖期初期の調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両方とも重要な場所で。[REDACTED]</li> <li>・両方とも重要なので。[REDACTED]</li> <li>・今後調査を継続されますけれども、今までの状況の御報告としてはよろしいでしょうか。ありがとうございます。[REDACTED]</li> </ul>
<p>(4) 調査地Lの保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、最後の項目になりますけれども、「調査地Lの保全対策」について御説明をお願い致します。[REDACTED]</li> <li>・「会議資料④調査地Lの保全対策」の説明（事務局 宮下）</li> <li>・ありがとうございました。 今までの調査の結果を踏まえて、今行われている工事を中断して、引き続きモニタリングで確認を続けて、連休明けに最終的な工事の実施等に関する判断を下すという手順を踏みたいという御提案ですけれども、御意見はいかがでしょうか。 ほかの事例も見ますと、繁殖期初期に繁殖行動をやめてしまうこともあるようですが、その辺を5月の連休明けまで待って確認すれば、繁殖が継続するかどうかの確証がより増すのではないかというお考えです。[REDACTED]</li> <li>・それまでは工事を中止するということですね。[REDACTED]</li> <li>・そうですね。[REDACTED]</li> <li>・今の話ですけれども、繁殖が継続していけば、巣立って、巣外育雛まですると分散しますね。その辺りまで工事は止まったままになるのでしょうか。[REDACTED]</li> <li>・それを5月の連休明けに確認することになります。[REDACTED]</li> <li>・話し合いましょうと。[REDACTED]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(4) 調査地Lの保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・するということになると思います。工事を実施していて繁殖行動が継続されるかどうかというのも見たいと個人的には思います。 ■■■■■</li> <li>・これだけ準備をしてきたところですから、工事をやりながら繁殖も見るというのもいい案だと思います。■■■■■</li> <li>・ただ、私は保護団体の人間ですので。■■■■■</li> <li>・学術的な希望です。■■■■■</li> <li>・学術と保護との間でなかなか難しいですね。■■■■■</li> <li>・今後のこういう事例といいますか、そのときに判断をしていく参考事例になる可能性はありますよね。■■■■■</li> <li>・そういうことになると思います。仮にそのことが影響して繁殖が失敗してしまうと、別の禍根を残しますよね。実験をするのかしないのかという事と、何がベースにあるのかということを見ると、ちょっと、難しいかなと思います。■■■■■</li> <li>・それと、4月はオオタカにとって一番大事な時期ですよ。指針にもそう書いてありますから。■■■■■</li> <li>・■■■■■はいかがですか。■■■■■</li> <li>・大宮国道さんの御配慮というか御決断というか、本当に感謝致します。こういったことがきちんとできるということは大変意味が大きいと思います。それは国内に対する影響もそうだし、外国から見ている目もあるわけで、そういった国際的な視点から見ても、こういった事をやっている事を見せるのは大変重要なことで、御決断を高く評価したいと思います。■■■■■</li> <li>・■■■■■、加えることはございますか。■■■■■</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(4) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・卵をいつ産むのかというのが一番知りたいところで、ちゃんと4つまでいけようかというところで、その状況がわかるのが多分4月いっぱい、抱卵の態勢がどう取れるかという事だと思います。この間の雪のせいなのか、今年の繁殖の状況がオーソドックスなスケジュールで行われているとは言いにくい部分があって、少し遅れ気味かもしれないので、ちゃんと卵を産んで抱卵が始まっているかどうかということが見えるといいと思います。■■■■■</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、引き続きモニタリングを実施して、工事を中止して頂いて、5月の連休明けに状況を最終判断するという段取りにしたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、一番重要な内容が御了解いただけました。とりまとめもよろしいですね。■■■■■</p> <p>・はい。(事務局 山田)</p> <p>・そうしましたら、どうも御協力ありがとうございました。進行をお返ししたいと思います。■■■■■</p> <p>・5月の日程はできたら決めておいてもらいたい。非常に大事ですからね。■■■■■</p> <p>・今日は難しいです。すぐ日程調整をしたいと思いますので、申し訳ありませんが、よろしくをお願いします。(事務局 山田)</p> <p>・では、後日調整ということですね。■■■■■</p> <p>・はい。すぐに入ります。(事務局 山田)</p> <p>・どうもありがとうございました。</p> <p>調査地Lにつきましては、今、座長に取りまとめていただいた意見を踏まえたとおりに対応してまいりたいと思っております。</p> <p>今後につきましても継続して、調査地L、Fの繁殖状況については慎重に繁殖期調査を実施してまいりたいと思います。</p>

第18回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>(4) 調査地Lの保全対策</p> <p>閉会</p>	<p>それから、先ほどお話し頂きましたように、5月の連休明けぐらいに会議を開催させて頂きまして、確認させて頂きたいと思います。すぐにも日程調整をというお言葉まで頂きまして、ありがとうございます。戻りまして、早速皆様に御案内させて頂きまして、日程調整を開始したいと思っております。ありがとうございます。(事務局 宮下)</p> <p>・それでは、以上をもちまして第18回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を終了させて頂きます。どうもありがとうございました。(事務局 宮下)</p>